

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	美浜町立わかば園		公表日		令和8年3月11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティション等で区切る等の工夫をしている。 ・遊戯室・トイレなど保育所と併用。調整して使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、親子クラスの人数が少ないので部屋が広いが、環境を整えるようにしている。 ・利用定員数いっぱいだと狭いが、今年度は広い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に合わせて、臨機応変に配置している。 ・職員間でお互いの実践を見て学びあう機会を設けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が少ない場合、多く感じる場合あり。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	44%	56%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への案内、スケジュール等提示し、分かりやすくしている。 ・現在の施設で可能な限り構造化（スケジュールの提示、物の場所）をしているが、子どもの特性をより深く考慮し、職員で話し合いながら、その子にとっての配慮を今後もしていく。 ・保育所と併設の為、できる範囲で環境を整え、安全第一で生活している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・併設の保育所はバリアフリー化はなされていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	78%	22%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の清掃、暖房等使用し、心地よく過ごせるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・併設の園舎は古く冬はとても寒い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22%	78%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じパーティションで仕切るなどして、個別スペースを作っている。 ・併設保育所の空きスペースを利用することも可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2部屋(単独・親子)+相談室(訓練室)なので、個別の部屋や場所はない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、計画、振り返りをしている。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表だけでなく、グループワークや座談会などで保護者の意向等を把握し、職員間で把握し、改善策を話し合っている。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の振り返りや困った事を話す時間を設け、職員の考えを共有している。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	22%	78%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に紹介し、参加者より研修内容を復命してもらい、共有するようにしている。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・クラスごとに行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・同じプログラムでも昨年の子どもの姿の変化や、その子のねらい、サーキットに変化をつけている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・職員全員で確認できるようにミーティングを行い、場合によってはシミュレーションを行うようにする。	・支援の内容や役割分担について確認不足の時もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・意見が出し合える雰囲気づくりを心がけている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年ごとに支援計画の策定、見直し、評価を行い、最低年5回は必ず行っている。また、必要時面談も行う。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%	・横のつながり、子どもを中心として支援ができるよう今後も働きかけていく。	・個別のケースについて、連絡や相談は実施しているが、地域全体での連携、支援の体制は整っていないように感じる。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	89%	11%	・移行先での交流や姿の伝達などを行っている。また事後訪問を行い、姿やかかわりの確認や共有を行っている。 ・令和8年度より、併行通園が始まるため、保育園の職員や保護者間で共有していく。 ・保育所は、交流、引継ぎ、事後訪問など連携を行う。 ・来年度から併行通園を行う。併行通園について、対象者や運用に方法について、関係機関と話し合いを行っていく。	・来年度からの併行通園が決定している。支援内容の情報共有等についてはこれから話し合いを進めていく。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は対象児がないが、支援学校とは話す場があった。 ・就学後も必要時、情報交換できるよう、事後訪問する旨を小学校に伝えている。 	
		(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・知多圏域の事業所との連絡、情報共有をしている。 ・あいち発達障害者支援センター、知多地域障害児等療育支援事業というきっす等の研修を利用し、年に数回事例検討会を設け、助言を頂いている。 	・児童発達支援センターはない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所と併設のため、行事など交流、また、戸外あそびなどでも接する機会は多い。 		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士による保護者向けの講義を実施。 ・保護者の向けのグループワークやOBを招いての座談会を行っている。 ・他機関からの研修案内についても情報提供を行っている。 		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず保護者との面談を行い、保護者からの意向を確認している。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	78%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のグループワーク、わかばタイム、さくらんぼタイム、年に数回、座談会(卒園児含む)、囲む会など保護者同士で交流する機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会はない。 ・きょうだい同士の交流する場はない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・課題表を通じて、毎月の予定ややキッズビューを通して、園での行事予定等を配信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・鍵付きの書庫で管理している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	89%	0%	・週一回の親子通園日や親子療育の中で間に入り、行っている。 ・一日の流れを絵カードで示したり、分かりやすい言葉を使うようにしている。 ・子どもに合わせて絵カードを使用する場面もある。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	44%	56%	・近隣の大学からの要望で施設見学や大学生と一緒に遊ぶ機会がある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・事故対応訓練を実施。 ・保育所に準じたものと策定してある。 併設保育所と避難訓練、防犯訓練など合同で行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・入園時、園児調査票により確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	78%	0%	・今年度は、該当児はいない。該当する場合は医師の指示書に基づき、月1回の面談を行い、確認を行う。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	89%	11%	・保育所と合同で訓練して行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・職員間で必ず共有し、書面でも残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・人権のアンケート年2回、職員間で共有、虐待研修を年1回行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22%	44%		